

わかる授業

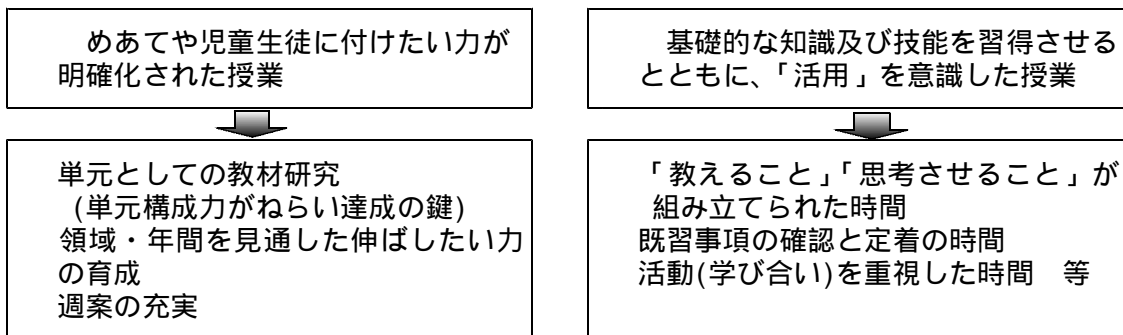
児童生徒一人一人が解決の喜びや学習の達成感・成就感を体得できる授業

- 1 「わかった」「できた」「自信につながった」が実感できる
- 2 学び方がわかり、活用につなげることができる。
必要な情報を取り出し整理する
関連づけて思考する(解決の見通しをもつ)
考えや思いを筋道をたてて書き、説明する
- 3 「もっとやってみたい」と学習意欲がもてる
反復学習 家庭学習へのつなぎ
発展的な学習



「授業の質」の改善のため各学校で共通の視点で取り組んでみよう

全学年で！ 全教科で！ 各学校の課題解決をめざして！



児童生徒の姿を通した評価の視点

- (1) やることがはっきり分かっていた。 <明確な目標>
- (2) 何となくできそうだった。 <能力に合致>
やってみたい気になった。
- (3) 夢中でやってしまった。もっとやってみたい。 <意欲・集中>
- (4) 自分の意見が取り上げられた。 <承認>
友達や先生からも認められた。
- (5) 教えてもらってよかった。 <受容満足>
- (6) 「できた」「分かった」自信につながった。 <成就感・充実感>
- (7) 力を出し切った。 <満足感・達成感>

教師の手立ての視点

子どもの実態を把握し、具体的な計画が立てられている。
教材研究が十分なされている。
目標、内容、発問、教材・教具等、活動の計画が立てられている。
児童生徒にどんな力をつけたいか、何を習得させたいかはっきりしている。

児童生徒が考えたり、活動したりする時間、学び合う時間が確保されている。
授業後、充実感と共に、新しい課題や疑問を追求しようとする意欲につなぐことができる。
学習の約束事がきちんとできている。
互いに認め合う学級の雰囲気づくりができている。